

復習シート 第五学年 国語



| |
|----|
| 組 |
| 番号 |
| 名前 |

模範解答

【指示語の働きを理解する問題】

- 1 次の一と二の——部の言葉は、何を指していますか。あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。 **レベル4・5**

一 今日、わたしは、父に本を買ってきてもらいました。これは、前からほしかったものです。

- 1 今日
- 2 父
- 3 本
- 4 買ってきてもらったこと

3

「これ」「それ」「あれ」「どれ」などを「こそあど言葉」といいます。文章中で、前後に出てくる言葉や文を指すこともあります。あります。「これ」「それ」の前の文から、指す言葉を探し、当てはめて文に合っているか、考えてみましょう。

二 人には、それぞれの考え方がある。自分の意見をおし通していやがられるのはそのたねだ。だからといって、人の意見に従ってばかりではつまらない。おたがいの考えをたいせつにすべきだ。それさえできれば、わたしたちはおたがいを認め合って話し合うことができるはずである。

- 1 人には、それぞれの考え方があること
- 2 自分の意見をおし通すこと
- 3 人の意見に従うこと
- 4 おたがいの考えを大切にすること

4

【修飾と被修飾の関係を正しく理解する問題】 **レベル7・8** (平成十九年度 全国学力・学習状況調査)

- 2 次の文の——部の言葉は、どの言葉をくわしくしていますか。 () に書きましよう。

——部の言葉は、修飾語といい、文の意味をくわしくする言葉です。(1)赤いのは何か、(2)毎朝、何をするのか、(3)友達の何なのかを考えてみましょう。

- (1) 赤い 大きさを さしている 女の子は わたしの 姉です。 (**かさ**を) (**かさ**)
- (2) ぼくは 毎朝 近くの 公園で 弟と 走っています。 (**走**っています) (**走**っています)
- (3) 友だちの 大きな 声が 教室から 聞こえた。 (**声**が) (**声**)